

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 35 週分・8 月 24 日～8 月 30 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザが流行入りの目安である 1.0 人/定点を超えました。

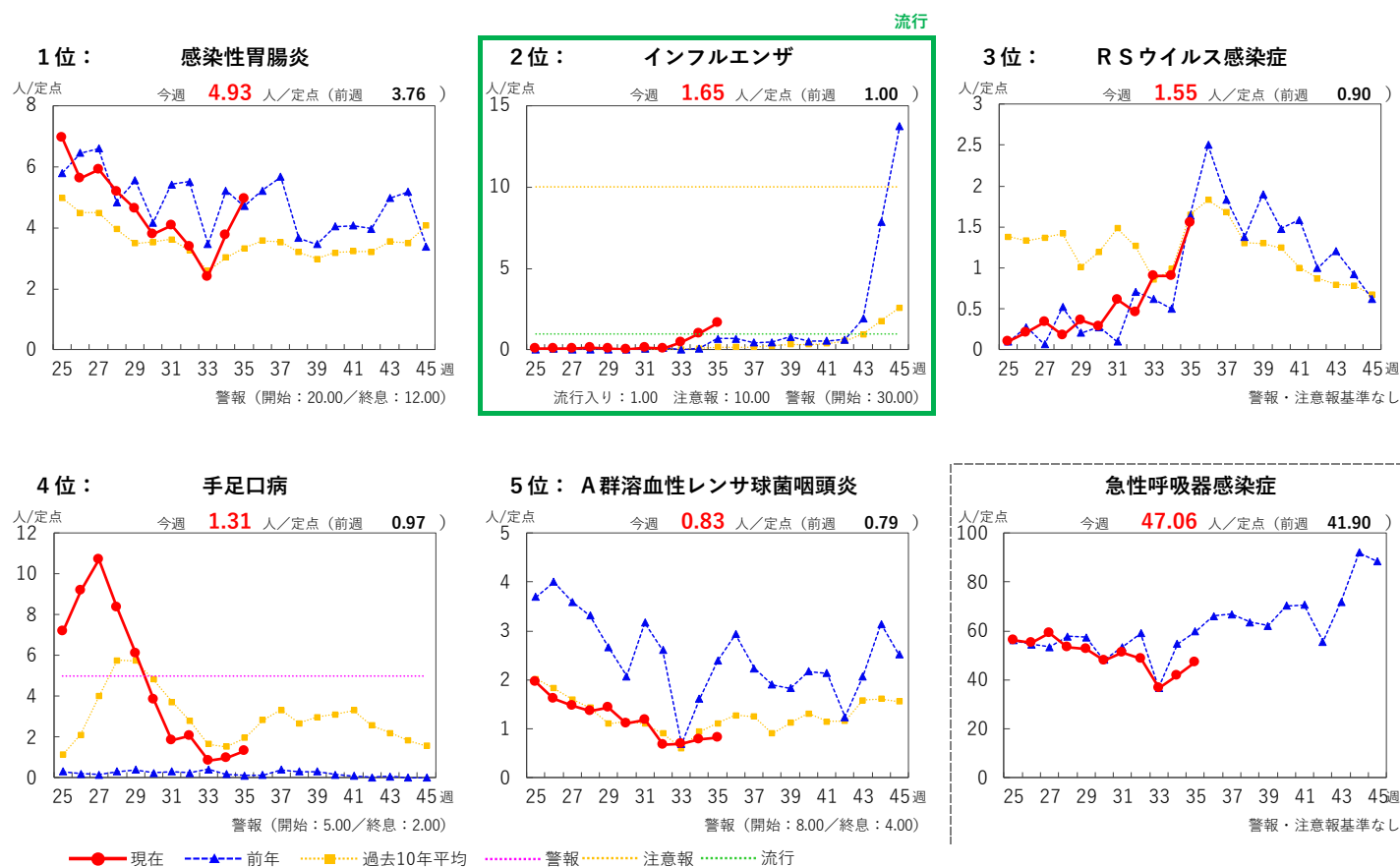
県内の患者報告数は 1.65 人/定点となり、流行期に入ったと考えられます。手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(今週のインフォメーション、[9/2 報道発表資料](#)、[インフルエンザの疫学所見](#)参照)

ORS ウイルス感染症の報告数が増加しています。

2 歳以下の乳幼児に多く、主症状は鼻汁、咳、発熱などです。1 歳未満、特に 6 ヶ月未満の乳児や早産児では重症化する場合があります、注意が必要です。定期接種（母子免疫ワクチン）により予防可能なため、対象の妊婦の方は、接種をご検討ください。(第 34 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 35 週・8/24～8/30)

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件 (40 歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (30 歳代、男性、O26、VT1)

四類感染症 E 型肝炎 1 件 (60 歳代、男性)

レジオネラ症 3 件 (①②共に 70 歳代、男性、肺炎型

③80 歳代、男性、ポンティアック熱型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (10 歳未満、女性)



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL: 0766-56-5431 (直通)

HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



昨年より 8 週間早く流行入り！ インフルエンザ

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

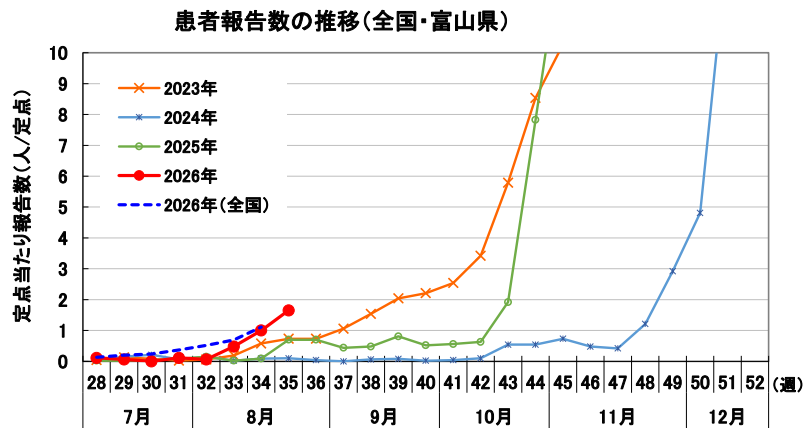
インフルエンザは季節性があり、例年冬季から春季にかけて流行します。流行時期に合わせ、毎年第 36 週（8 月末～9 月初旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

全国のインフルエンザ報告数は、第 29 週ごろから緩やかに増加し、第 34 週（8/17～8/23）に 1.11 人/定点となり、流行入りの目安である 1.0 人/定点を上回りました。都道府県別にみると、第 34 週時点で 15 都道府県が流行入りしています（[厚生労働省/2026 年 8 月 28 日インフルエンザの発生状況について](#)）。

富山県では、第 33 週（8/10～8/16）から報告数が増加し、今週（第 35 週）1.65 人/定点となりました。昨年（2025 年第 43 週：1.92 人/定点）より 8 週間早く、流行入りの目安である 1.0 人/定点を上回り、流行シーズンに入りました（[9/2 報道発表資料](#)）。COVID-19 のパンデミック以降では最も早い流行入りです。第 35 週に報告された患者の年齢層は 0～9 歳の小児が中心となっています。また、定点医療機関での迅速診断キットによるウイルス抗原検出状況では、A 型が 89.9%を占めています。新学期が始まり、小児だけでなく成人への感染拡大も懸念され、今後の発生動向に注意が必要です。

インフルエンザウイルスの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染予防および感染拡大防止のため、手洗い・換気・適切なマスク着用等の予防対策をお願いします。特に高齢者など重症化リスクの高い方と会う際にはマスクの着用が重要です。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず、登園や通学、出勤、外出を控えるようにしましょう。

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症をある程度予防し、重症化を防ぐ効果があります。65 歳以上の方や 60～64 歳で一定の基礎疾患がある方は、市町村が実施する「定期予防接種」の対象者となり、接種費用の一部が助成されます。制度の内容等については、お住まいの市町村の HP 等をご参照ください。市町村の助成事業は例年概ね 10 月から開始されています。ワクチンは効果の発現まで 2 週間程度かかるため、医療機関等での接種開始後、速やかな接種を検討しましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第35週 2026年8月24日～2026年8月30日）

分類		疾患	今週報告分（第35週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核				1		1	5	3	17	9	35	69
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	7	6	21	40
	三類感染症	細菌性赤痢											1	1
		腸管出血性大腸菌感染症			1			1	3		7	2	8	20
	四類感染症	E型肝炎	1					1	1		1		1	3
		デング熱											1	1
		マラリア											2	2
		レジオネラ症				1	2	3	1	2	8	3	16	30
	五類感染症	急性脳炎	1					1	2				2	4
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	6	10
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		4	6
		侵襲性髄膜炎菌感染症										1		1
		侵襲性肺炎球菌感染症							3		7	2	5	17
		水痘（入院例）							1	2	2		3	8
		多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
		梅毒							5	2	9	1	15	32
		破傷風											1	1
		百日咳							1				7	8
		麻しん										4	4	8
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	178 25.43	201 40.20	744 57.23	202 28.86	934 58.38	2,259 47.06	9,981	9,085	34,785	9,682	43,743	107,276	
	インフルエンザ	3 0.43	7 1.40	36 2.77	4 0.57	29 1.81	79 1.65	1,467	1,226	3,400	1,452	4,739	12,284	
	COVID-19	2 0.29	2 0.40	17 1.31	8 1.14	5 0.31	34 0.71	303	153	389	196	550	1,591	
	小児科定点（29定点）	R Sウイルス感染症	1 0.25		17 2.13	3 0.75	24 2.40	45 1.55	30	12	213	45	162	462
		咽頭結膜熱	1 0.25		1 0.13		2 0.20	4 0.14	35	23	259	2	79	398
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4 1.33	8 1.00		12 1.20	24 0.83	157	206	1,430	229	1,357	3,379	
感染性胃腸炎		18 4.50	13 4.33	4 0.50	3 0.75	105 10.50	143 4.93	807	669	1,145	308	4,057	6,986	
水痘				1 0.13		2 0.20	3 0.10	3	17	47	9	114	190	
手足口病		2 0.50	4 1.33	10 1.25	7 1.75	15 1.50	38 1.31	40	182	744	121	1,042	2,129	
伝染性紅斑								8	3	26	11	13	61	
突発性発しん			2 0.67	1 0.13	1 0.25	3 0.30	7 0.24	7	25	112	26	122	292	
ヘルパンギーナ			4 1.33	5 0.63	2 0.50	4 0.40	15 0.52	18	50	77	19	158	322	
流行性耳下腺炎			1 0.33			1 0.10	2 0.07	3	1	5	4	9	22	
眼科定点（7定点）		流行性角結膜炎	1 1.00			1 1.00		2 0.29	10	2	15	9		36
		基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											2
無菌性髄膜炎									2					2
マイコプラズマ肺炎						1 1.00		1 0.20	9		3	5	7	24
クラミジア肺炎											2		2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	1		3	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	2		2		2	6	57	42	53	40	105	297	
	COVID-19による入院患者					1	1	25	18	7	12	61	123	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

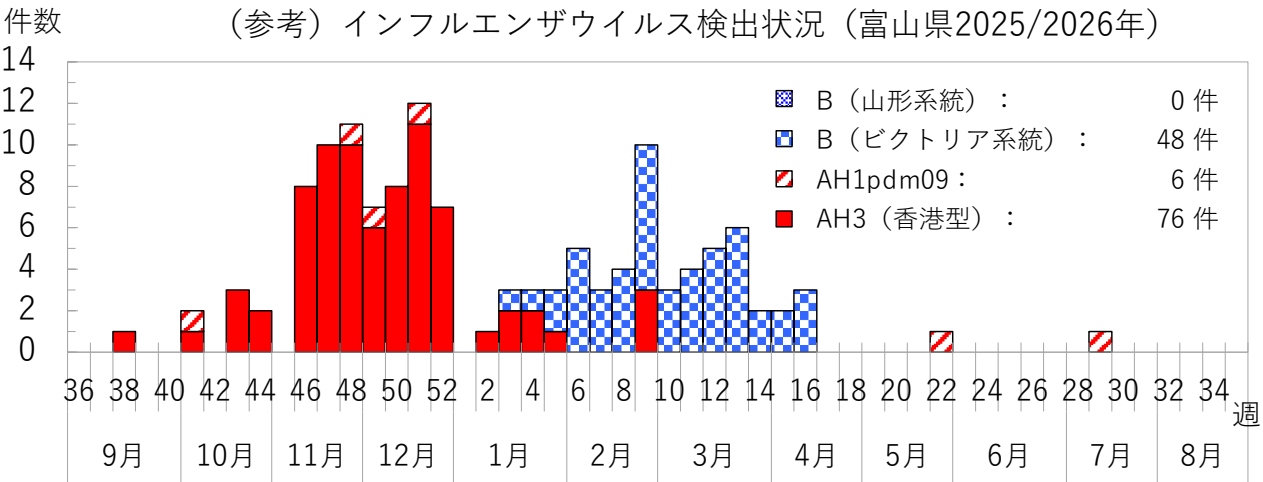
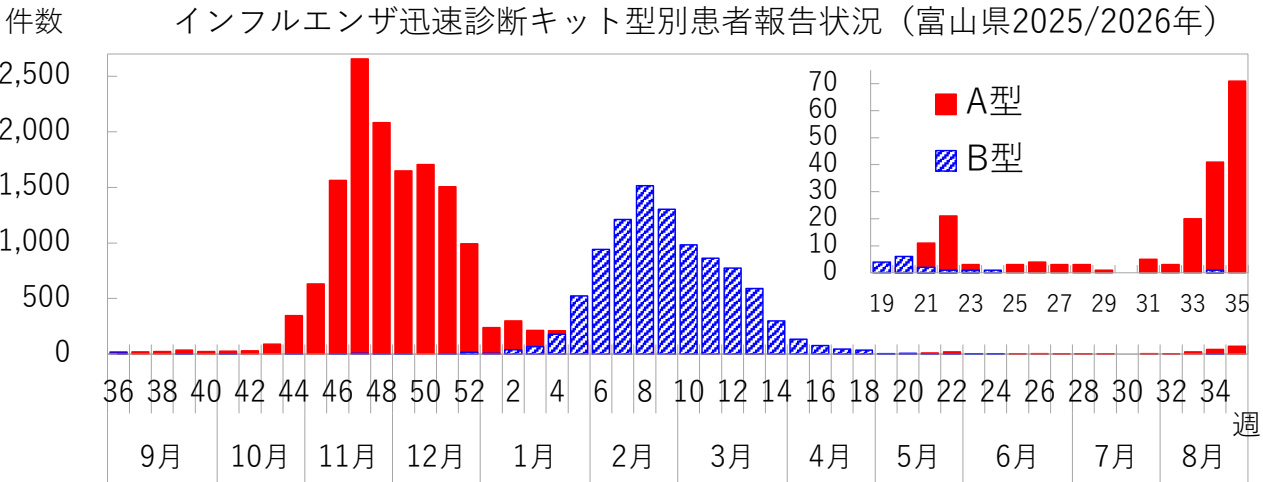
現在、下の表によると、A型が89.9%となっています。

第35週（8/24～8/30）：富山県 1.65人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	3	0	0	3
中部	2 / 5	7	0	0	7
高岡	11 / 13	30	0	6	36
砺波	2 / 7	4	0	0	4
富山市	10 / 16	27	0	2	29
富山県	28 / 48※1	71	0	8	79
富山県累計（2025年36週～）		15,046	9,653	2,201	26,900

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が28か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

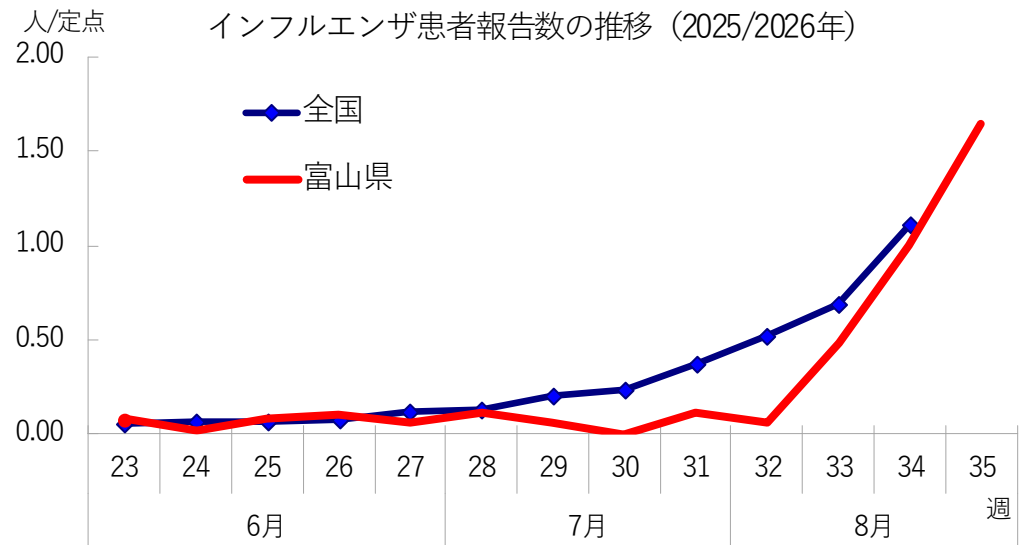
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 35 週（8/24～8/30）

富山県 1.65 人/定点 [新川 (0.43)、中部 (1.40)、高岡 (2.77)、砺波 (0.57)、富山市 (1.81)]

全国では第 34 週に流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、流行期に入りました。

富山県では全国に遅れて今週 1.0 人/定点を超え、流行期に入ったとみられます。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026 年）



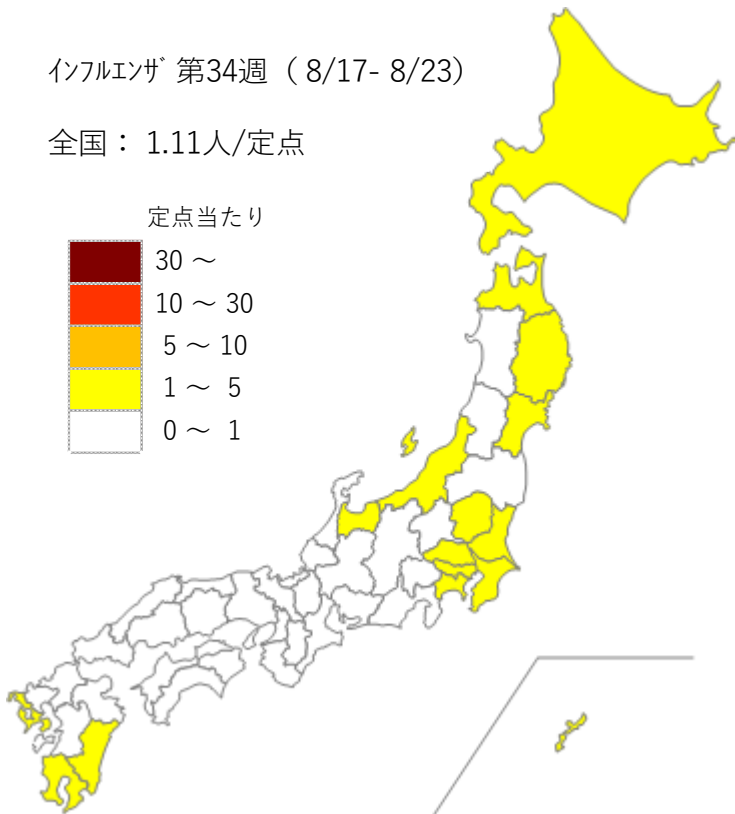
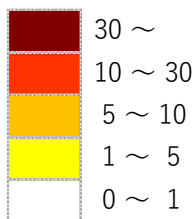
● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 34 週（8/17～8/23）

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 1.11 人となり、前週の 0.69 人より増加しました。41 都道府県で前週より増加しています。6 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第34週（8/17- 8/23）

全国：1.11人/定点

定点当たり



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.12 ↑	滋賀県	0.62 ↑
青森県	2.08 ↑	京都府	0.97 ↑
岩手県	2.10 ↑	大阪府	0.45 ↑
宮城県	1.20 ↓	兵庫県	0.71 ↑
秋田県	0.84 ↑	奈良県	0.38 ↓
山形県	0.90 ↓	和歌山県	0.38 ↑
福島県	0.75 ↑	鳥取県	0.79 ↑
茨城県	1.76 ↑	島根県	0.25 ↓
栃木県	1.34 ↑	岡山県	0.56 ↑
群馬県	0.72 ↓	広島県	0.37 ↑
埼玉県	1.83 ↑	山口県	0.39 ↑
千葉県	1.80 ↑	徳島県	0.55 ↑
東京都	1.49 ↑	香川県	0.61 ↑
神奈川県	1.99 ↑	愛媛県	0.81 ↑
新潟県	1.65 ↑	高知県	0.78 ↑
富山県	1.00 ↑	福岡県	0.66 ↑
石川県	0.68 ↑	佐賀県	0.46 ↓
福井県	0.69 ↑	長崎県	1.08 ↑
山梨県	0.97 ↑	熊本県	0.87 ↑
長野県	0.96 ↑	大分県	0.33 ↑
岐阜県	0.49 ↑	宮崎県	1.25 ↑
静岡県	0.91 ↑	鹿児島県	1.58 ↑
愛知県	0.74 ↑	沖縄県	4.43 ↑
三重県	0.52 ↑	全国	1.11 ↑

